

【小学校教諭】

心理こども学科 第1表 (教科及び教科の指導法に関する科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目	単位	配当年次	
教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	30	○日本語表現法	2	I	必修 3科目 教職選択必修
	社会		児童文学	2	II	
	算数		社会科学概論	2	II	
	理科		算数科概論	2	II	
	生活		自然科学概論	2	II	
	音楽		生活文化概論	2	I	
	図画工作		初等音楽1	2	I	
	家庭		初等音楽2	2	I	
	体育		図画工作	2	I	
	外国語		家政学概論	2	II	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	30	初等体育	2	II	教職必修
	社会		初等英語	2	I	
	算数		初等国語科指導法	2	III	
	理科		初等社会科指導法	2	II	
	生活		初等算数科指導法	2	II	
	音楽		初等理科指導法	2	II	
	図画工作		初等生活科指導法	2	II	
	家庭		初等音楽科指導法	2	III	
	体育		初等図画工作科指導法	2	III	
	外国語		初等家庭科指導法	2	III	
			初等体育科指導法	2	III	教職必修
			初等英語科指導法	2	II	教職必修
			計	44		

- 備考 (1) 備考欄の「必修」とは、心理こども学科の必修科目。
 (2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。
 (3) ○印の付された科目は、「共通科目」、それ以外の科目は心理こども学科の専門科目として開講。
 (4) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第2表 (教育の基礎的理解に関する科目等) (令和元年度以降入学生適用)

施行規則に定められた科目区分等			左記に対応する本学の開講科目			備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	II	教職必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2	I	教職必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	2	III	教職必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	I	教職必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		発達心理学	2	I	必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育	2	II	教職必修
			(教育課程及び総合的な学習の時間の指導法)			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導論	2	II	教職必修
	総合的な学習の時間の指導法		教育課程及び総合的な学習の時間の指導法	2	II	教職必修
	特別活動の指導法		特別活動論	2	II	教職必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論	2	II	教職必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)	2	III	教職必修
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	教職必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導(小学校)	1	III	教職必修
			教育実習(小学校)	4	III	教職必修
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2	IV	教職必修
	計	27	計	31		

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) 各科目は必ず、配当年次に履修しておくこと。配当年次を過ぎた科目については、時間割上学科の必修科目と重複して履修できなくなる場合がある。1年次から計画をたてて履修し、単位を修得することが必要である。

心理こども学科 第3表 (大学が独自に設定する科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			備考
科目区分	単位	本学授業科目	単位	配当年次	
大学が独自に設定する科目	2	介護等の体験(事前指導)	1	Ⅱ	教職必修
		介護等の体験(事後指導含む)	1	Ⅲ	教職必修
		*人権教育論	2	Ⅱ	

備考 (1) 備考欄の「教職必修」とは、教職課程履修者にとって必修となる科目。

(2) *印の付された科目は、「共通科目」として開講。

心理こども学科 第4表 (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)〔令和元年度以降入学生適用〕

施行規則に定められた科目区分等		左記に対応する本学の開設科目			履修方法
科目	単位	本学授業科目名	単位	配当年次	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	Ⅰ	教職必修
体育	2	健康スポーツ1	1	Ⅰ	} 2科目教職選択必修
		健康スポーツ2	1	Ⅰ	
		健康科学	1	Ⅰ	
外国語コミュニケーション	2	英語1	1	Ⅰ	} 2科目教職選択必修
		英語2	1	Ⅰ	
		英語3	1	Ⅰ	
		英語4	1	Ⅰ	
		フランス語1	1	Ⅰ	
		フランス語2	1	Ⅰ	
		中国語1	1	Ⅰ	
		中国語2	1	Ⅰ	
		韓国語1	1	Ⅰ	
韓国語2	1	Ⅰ			
情報機器の操作	2	情報リテラシー1	2	Ⅰ	} 1科目教職選択必修
		情報リテラシー2	2	Ⅰ	

備考 (1) 上記科目はすべて「共通科目」として開講。

(2) 備考欄の「教職必修」、「教職選択必修」とは、教職課程履修者にとって必修、選択必修となる科目。

中学校教諭2種免許状（英語）の取得について（小学校教諭1種免許状取得希望者限定）

- (1) 本学において、小学校教諭1種免許状の取得を希望する学生に限り、中学校教諭2種免許状（英語）の取得を認める。中学校教諭2種免許状のみの取得はできない。（所属学科は問わない。）
- (2) 中学校教諭2種免許状取得に必要な単位数、及び履修方法は以下のとおりとする。

〔令和元年度以降入学生適用〕

科目	必要単位数	科目	本学開講科目	単位	配当	履修方法
教育の基礎的理解に関する科目等	6	教育の基礎的理解に関する科目	教職概論	2	I	必修 ※1
			教育原理	2	II	必修 ※1
			教育・学校心理学	2	I	必修 ※1
	6	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別活動論	2	II	必修
			生徒指導論(進路指導を含む)〈中等〉	2	III	必修
			教育相談(カウンセリングを含む)	2	III	必修 ※1
	7	教育実践に関する科目	教育実習指導(中・高)	1	IV	必修
			教育実習 ※2	4	IV	必修
			教職実践演習(中・高)	2	IV	必修
教科及び教科の指導法に関する科目	12	各教科の指導法	英語科教育法Ⅳ	2	III	必修
		英語学	英語学概論	2	II	必修
		英米文学	英米文学入門	2	I	必修
		英語コミュニケーション	★Oral Communication 300 ※3	2	II	1科目選択必修
			★Oral Communication 400 ※3			
			★Reading 501	2	III	1科目選択必修
			★Reading 601			
異文化理解	異文化理解	2	II	必修		
大学が独自に設定する科目	4		人権教育論	2	II	必修
			介護等の体験(事前指導)	1	II	必修 ※1
			介護等の体験(事後指導含む)	1	III	必修 ※1

※1 小学校1種免許状取得のために修得した単位が流用可能である。

※2 教育実習(中学校3週間)に参加する者は以下の条件を満たしていること。

- ①教育実習を行う前々学期末、または前学期末に累積G.P.A.が2.0以上、または前年度のG.P.A.が2.5以上であること。
- ②教育実習を行う前年度末までにTOEICで450点以上を獲得していること。
- ③その他、教育実習に係る注意事項については学生要覧P.101(教職課程【中学校・高等学校教諭】)を確認すること。

※3 Oral Communication 300、Oral Communication 400(英語観光学科コア・イングリッシュ科目)については通常、他学科履修を認めていないが、小学校1種免許状及び中学校2種免許状(英語)を取得希望の心理こども学科生に限り、履修を認める。

※ ★印の科目を心理こども学科の学生が履修する場合のクラス(レベル)については英語観光学科主任に相談すること。